



写真は草加職安の窓口風景。右の後姿は、共に働くまち・べんきょう会の常連の浅古さん(八潮市)。7年間求職活動を続ける彼は、職安でも顔である。

**9月28日(木) 午後6時半～9時**  
**越谷市中央市民会館5F** 会費200円  
主催・障害者の職場参加を考える会 048(733)2743  
デイケア・パタパタ内(一ノ瀬)

# 第一〇回・共に働くまちを創るべんきょう会 いま職安の窓口から

職安の窓口から見た昨今の障害者雇用事情

このべんきょう会は、障害者が地域で働くというテーマをきっかけにしながら、障害のない人の働きかたや暮らし方を含めて、フリーに語り合おうという会です。一回、一回、レポーターをお願いし、それを口火としておしやべりしますので、初めての方でもどうぞおいで下さい。

今回は、都内の職安の担当者にはぼ来ていただけると思いますが(所長の決済がまだなので、匿名にしておきます)。そのほか、滋賀県での知的障害者を対象とした3級ヘルパーの取組について、この記者会見から聞かそうです。

# 第10回・共に働くまちを創るべんきょう会 いま職安の窓口から



## 職安の窓口から見た昨今の障害者雇用事情

これまで労働問題は職安等を出先として国が一元的に扱ってきました。自治体が先行し後から国が法整備を進めてきた福祉とは大きく異なっていました。また障害者も含め雇用は民間事業所をあてにしてきた側面が強く、能力のハードルを越えられない障害者は福祉の場に流れ込み、そこがふくれあがってきました。

地方分権の流れの下で、都道府県庁内で職安を束ねてきた国家公務員は外に出て、各都道府県独自の雇用担当課が設置され、また一部ですが就労支援に取り組む市町村も出てきました。が、基本的な枠はまだそのまま。

こうした時代状況を、過去最大の失業で溢れ返る職安の窓口から逆に眺めてみたら…？お聞き逃しなく！

連絡先・デイケア・パタパタ（一ノ瀬）  
048（733）2743

（時間の許す方は、終了後ファミレスで食事しながらおしゃべりも）  
主催・障害者の職場参加を考える会

参加費 二〇〇円

越谷市中央市民会館5F

9月28日（木）

午後6時半～9時

共に生き・共に働く街への思いを抱く東武沿線のみなさん、お顔をのぞかせて！